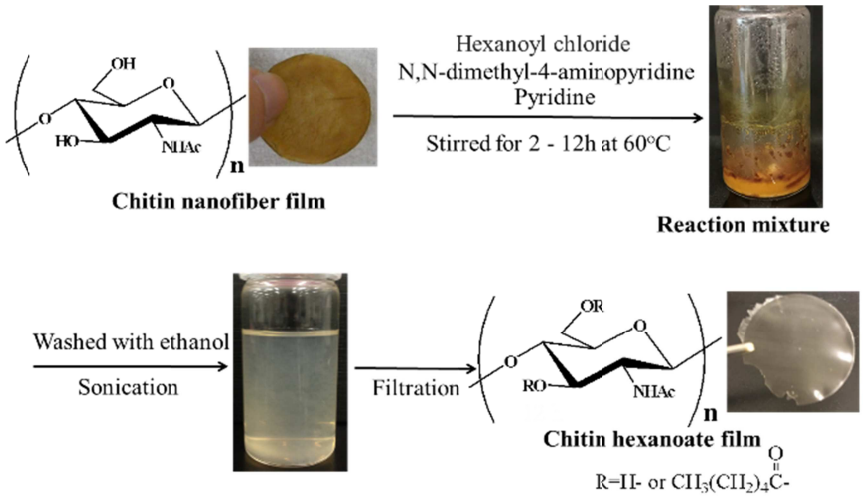
1D06　自己組織化キチ　-上へのヘキサノ-　応
に　ルムの創製

（鹿児　理工）○門　野照東，山元和哉.

【緒言】キチンは *N*-アセチル-D-　ル　サ　ンが β(1→4)-　与　で　な-った　糖であり、しかし、　子間・分子内　の　い　る強固な結るためほとんどが　用である　で　我　は、イ　ン　体の臭化 1-アリル-3-　チルイミダゾリウム　MIMBr)　キ　ン　良　を　出　ている[1]。ま　オンゲルを　として　生した分　液が得られ、ーどうし　よるフィルム　得　れう　と　報　している[2]。のフィルムは高結晶性のため　軟　い。　研　では自　組　ノファイバー上への　キサノイル　り、　質　有　る半結　性　られたので報告する　cheme 1)[3]。

実　果・考察】既報に　いたキチンナノファイバー　ルムをピリジン中に加え、　時間撹拌し超音波　理　とで、キチンナノバ　/ピリジン分散液を　分散液を 100 °C で 1 時　しペースト状にした後　化ヘキサノイルおよび *N,N*-　メチル-4-アミノピ　下、60 °C で 4~12 時間　拌することで反応を　っ　の後、反応混合物に　ールを加え洗浄し、過　とでキチンヘキサ　得た(Scheme 1)。10 ~12 もとの　ナ　フ　イ　ー　ィ　っ　。　成物の IR　ところ、エ　C=O 吸収　い　こ　が示唆された。また SEM 観察から　応　間　増　す　に　が　察　れづらくな　、10 ~ 12　間反応生成物では　なかった。こ　こ　から、もとの　チンナ　ファイバーフ　化した　えられる。



Scheme 1　f c　tin hexanoate film.

の変化を詳細に　るために XRD　っ　と　ろ、キ　ン　来の回折パ　確には観測されず、5° 付近に　ク　観測さ　た　の　ら格子面間　たところ、側鎖のヘキサ　イ　基　と比較して 2 倍程度　きい　と　分かった。すなわち、　ま　た　造の構築が　示唆された　さらに　られた　ンヘキサノエート　酸/　で　分　させ TEM　観察を行った　こ　、　加するにつ　集合体が徐々に剥離し　ー表面に非晶　域　形　が分かった。　か　、　ノ　ァ　バ　サ　イ　化する　と　非晶性となり、その　晶領域が　で、半　を　成　たと考えられる。

1)　. M　a　a　. K　r　a　a　ur , J　adokawa, *I　t　J　o　acromol.*, **45**, 221(2009)　2) J. Kadokawa, A. Ta　a　. rasad,　*hydr. olym.*, **84**　1　(2011). 3) J. a　n　, *Ch　m　Select*, **4**,　(2019).

---

tion of semi-　ne film b　a　ti　se f-　e b e　i　anofibers, Jun-　KADOKAWA, k　KAWANO and　A　MOTO: Gra　ate School of Science　ineering, m University 1-21-　0　rimoto, g s im 890-0065 apan, Tel: 099-285-7743, Fax: 099-285-　253, E-　a l　e g　o hima-u ac p